



# くじら ぶね 富田の鯨船 豪華

本市には、歴史と伝統のある文化行事が数多く残っています。今回は、富田地区の夏の伝統行事「とみだの夏祭り」で催される「鳥出神社の鯨船行事(国指定重要無形民俗文化財)」（通称：富田の鯨船）を紹介します。

## 「富田の鯨船」ってどんな船？

富田の鯨船は、豪華な彫刻や幕で飾られた鯨船山車を用いた模擬捕鯨行事で、毎年8月14日と15日に鳥出神社の祭礼として行われます。

4つの組(北島組・中島組・南島組・古川町)がそれぞれ1艘ずつの山車(神社丸・神徳丸・感應丸・権現丸)を持っており、これで鯨を追いかけます。反撃を受けては再び追い詰めて仕留めるという一連の演技が繰り返され、その迫力は圧巻の一言です。



繰り上げられる捕鯨の演技



鳥出神社に勢ぞろいした鯨船(昨年)

## 地元も熱く盛り上がっています！

伝統を継承していく次世代の担い手の確保が最も重要な課題ですが、若い力も育っており、頼もしく思います。

ユネスコの無形文化遺産への登録の話は、プレッシャーは感じるものの、富田地区の伝統文化が世界に発信され、世界中の人に見てもらえるようになれば、それは誇らしいことですね。



富田鯨船保存会連合会 会長 伊藤政弘さん

8月14・15日には、ぜひ鯨船を見に、富田地区へお越しください

## 世界へ向けて出航準備中？

文化庁からユネスコへ、無形文化遺産への登録申請中です。ユネスコの無形文化遺産といえば、昨年の和紙が記憶に新しいところですが、今回は、「山・鉾・屋台行事」として、国内の他の32の祭礼行事とともに一括して申請されています。平成28年に審査される見込みですが、ぜひ登録を期待したいところです。

ユネスコ 申請中

## 地域の伝統行事の継承に向けて

鯨船の行事は、富田地区のほかにも、南納屋町や南楠などでも行われています。また、獅子舞など本市には魅力的な伝統文化行事が多くあり、地域の活力と絆を生み出しています。

これらを未来へ守り継いでいくために、私たち一人ひとりが地域の伝統行事に興味を持ち、参加することが重要です。

